# 重要なまちづくりの課題の現状評価シート

| | | |
|---|---|---|
| 重要なまちづくりの課題（めざすべき姿） | 誰でも安心して福祉サービスを受けることができる | |
| 施策名 | 高齢者への福祉サービスの充実を図る | No.8 |

| | |
|---|---|
| 年度 | 平成27年度 |
| 責任部長 | 福祉こども部長 |
| 主担当課長 | 高年福祉課長 |
| 関係課 | 介護保険課、清掃対策課 |

## 1. まちづくり指標の現状

| まちづくり指標 | 指標のめざす方向 | 現状値 | 実績値 | | | | | 目標値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | H18 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | 5年後 |
| | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | 10年後 |
| 介護サービスを受けている人の満足度 （※満足度5点満点で評価） | ↗ | 3.8 | 3.6 | 3.8 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 4.0 |
| | | 3.8 | 3.9 | 3.7 | 3.8 | | | 4.3 |
| 福祉サービスに支払う金額(対価)が自分にとって妥当であると思う人の割合（%） | ↗ | 67.2 | 55.6 | 72.7 | 66.5 | 74.7 | 79.4 | 71.6 |
| | | 79.4 | 77.4 | 74.9 | 75.8 | | | 75.6 |
| 福祉サービスについて公平な情報(第三者評価など)を持つ相談相手(場所)を知っている人の割合（%） | ↗ | 19.6 | 21.9 | 21.9 | 23.4 | 26.5 | 23.5 | 32.0 |
| | | 23.5 | 27.0 | 27.9 | 29.7 | | | 43.6 |

## 2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

団塊の世代が高齢者の仲間入りとなり、平成27年には一宮市の高齢者人口は4人に1人が65歳以上となる見込みであり、超高齢社会を迎えている。高齢化が進むなかで、核家族化が進み、高齢者のみの世帯も増加しており、サービスを必要とする人は増加している。また、高齢者や介護する家族が求めるサービスも多様化しており、NPOや民間事業者がサービス提供事業者として数多く参入している。国や県においては安心して利用できるサービスを提供するシステムの構築を図っている。

## 3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

| | | |
|---|---|---|
| 現状評価 | A<br>改善傾向 | サービスを必要とする高齢者や家族が増加し、サービスの多様化が求められているなかで「介護サービスに対する満足度」は堅調を維持しており、「福祉サービスに支払う金額（対価）が自分にとって妥当であると思う人の割合」は目標値を達成している。「福祉サービスについて公平な情報（第三者評価など）を持つ相談相手（場所）を知っている人の割合」は着実に伸びてきている。 |

評価がB・Cの場合

## 4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

| 長期成果（事業群①） | 長期成果（事業群②） | | 長期成果（事業群③） |
|---|---|---|---|
| | | | |

| | |
|---|---|
| 評価観点 | 1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。<br>2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。 |
| 評価 | |
| 次年度の改善計画 | |

＊＊＊